

THE EM ボカシ

OTTEOKI

ONMONO

EM

2005年7月1日

No. 24



編集：EMボカシネットワーク 〒107-0052東京都港区赤坂3-16-11東海赤坂ビル4F TEL03-5570-5262
発行：EM研究機構 〒904-2203沖縄県うるま市川崎468番地 TEL098-972-6060
印刷：社会福祉法人きそがわ福祉会 きそがわ作業所 〒493-0007愛知県木曾川町外割田西郷西151 TEL0586-86-3763

ボカシでつくる大きな輪 皆で広げよう幸せの輪



環境にやさしい石けんをつくっています！

宮城県 仙台市 わらしべ舎西多賀工房の仲間たち

自然豊かな岩手に「笑顔と花のネットワーク」を！

岩手支部

小田島桂子

岩手支部は、折しもEMボカシネットワーク十周年の節目の年に誕生しました。

障害のある人もない人も、みんな一人の人間として地域の中で社会の一員として働き、「いきいきと暮らしたい」そんな想いを実現していくアプローチのひとつとして、このネットワークはとて大きな意義を持つています。



H16.12.4 岩手支部発会

今、福祉は施設から地域生活を中心とした流れを作ろうと、制度や施策がめまぐるしく変動しています。

経済優先の大量生産と効率化による弊害は、環境破壊のみならず、心

の荒廃ももたらしました。

障害を持つ人は、歩みはゆっくりでも、その存在感で私たちに「気づき」をもたらしてくれます。その仲間たちとともにEMボカシ作りを通して、地域での仲間を増やし、心の花を咲かせることのできるようなネットワークを目指していきたいと思つていきます。よろしくお願いいたします。

申請してみませんか

企業の助成金制度

多くの施設・作業所では、限られた予算内で設備投資や活動資金獲得に苦労しています。行政の補助金だけでなく企業にも福祉活動を対象にした助成金申請制度が意外と沢山あることが分かりましたので、その一例を紹介します。

その一つに、(財)ヤマト福祉財団が設けている「障がい者福祉助成金」があります。同財団が実施する

この制度は、障害者の自立と社会参加及び生産力アップなどに直結する事業を対象にしている、施設の改善や整備、備品等の購入や各種会議、出版、調査、文化事業など幅広く適用されます。同財団の十六年度助成予定総額は八千万円で、事業の一件当たり上限額は百万円です。

昨年度、岩手県千厩町にある身体障害者福祉協議会「千厩ワークプラザ」では、この助成を受けて乾燥機と粉碎機を導入しました。乾燥機は椎茸乾燥機で、粉碎機はそば粉の精製機械をEMボカシづくり用に改良しました。このように制度を上手に活用して作業効率アップに役立てると良いですね。

同財団申請事業についての詳細は左記までお問い合わせください。

(財)ヤマト福祉財団 〒104-0061

東京都中央区銀座二丁目二十五

TEL: 03-3248-0691

http://www.yamatofukushizaidan.or.jp/

EMの「種まき」

がんばります

知的障害者更正施設ゆたか学園

熊本支部 井上 律子

ゆたか学園は、熊本市の西部に位置する中島町にあり、入所50名通所7名の知的障害者更生施設です。作業活動や機能訓練などに加え、地域の一員として空き缶拾いや神社掃除を行うなど、みんなで元気にがんばっています。そしてこのたび、EMボカシネットワークの熊本支部の事務局をさせていただくことになりました。

施設でのEM活用は、平成9年に地域婦人会主催の勉強会に参加したことがきっかけでした。早速、作業活動に「EMボカシ作り」を導入し、あらゆる生活の場面においてEMを活用し始めました。

お風呂にEMボカシを使うのは施設の生活排水による環境汚

染対策なのですが、利用者の皆さんには「お肌がスベスベ!」「よく温まる」と評判がよく、「一石二鳥!掃除・洗濯・野菜作り・稲作などにもどんどん使おうと意欲的です。地域でも、EMを「種」として環境浄化の輪がどんどん広がっています。病院、お肉屋さん、保育園の砂場にとEM活性液は大活躍。

近所の病院では、どんなに掃除をしてもトイレの悪臭が消えず困っていた院長先生が、患者さんから紹介されて、ゆたか学園にEMの勉強にみえました。今はお掃除の時に、管理会社の方が定期的にEM活性液を流しています。病院内から悪臭がなくなつて、今後トイレ以外のお掃除にもEM活性液を使っていきたいとのこと。

お肉屋さんでは、肉の脂が排水溝につまり、夏場ひどく悪臭

活性液を使い始めました。排水溝のつまりは解消したそうです。病院もお肉屋さんもEM活性液をゆたか学園から1リットル200円で購入しています。保育園にはEM活性液を無償で提供しています。子供たちが安心して遊べる環境作りは未来への大切な種まきです。

ゆたか学園では利用者のみなさんの地域での自立をサポートすると共に、地球の一員としての次の世代に豊かな環境作りの提案をしたいと思えます。



EM活性液を使い施設内のそうじ

二〇〇四年新潟県中越地震 被災地からの近況報告

新潟支部 島本ひろみ

十月二十三日午後五時五十六分、新潟県中越地方をM6.8の大地震が襲いました。続いて到来した冬季では、十九年ぶりの豪雪が被災に追い打ちをかけました。このような時に大変心強かったのが「共助（きょうじよ）」の精神でした。「共助」とは、お隣さんとの助け合いから、もっと先のお隣さんとも手をつないで、さらに、その先のお隣さんとも助け合うつながりです。

この共助の精神はEMボカシネットワークにも通ずるところで、被災の際には支援団体からEMの無償提供など心強い支援を受けました。幸いなことにEMボ・ネット新潟支部に加盟している各施設・作業所共に大き

な被害はなかったようで安堵しました。
ここで誌面をお借りして、全国の皆さまからの物心両面にわたるご支援に感謝申し上げます。



昨年は、世界各地で大きな天災が発生。スマトラ島沖地震では、EMが悪臭の低減等に活躍。写真は消防車でEMを散布している様子です。

被災を体験して

島本ひろみ 十日町市

いつものように夕日が地平線を赤く染めて1日の終わりを告げていたまさにその時、大地震は突然にきました。これまでに

経験したことがない大きな揺れに、これから何が起ころのだからという不安と恐怖に襲われ、我が家の3人は外へ出て車庫から車を出しました。

この時点では立て続けに大きな地震が来ることなど予想もせず、家の中に戻って身の回りの品や食べ物を持ち出しました。そこに2回目の大きな揺れが、さらにもっと大きな揺れが続き、道路上に立っていることができなくなりました。

カー・ラジオで初めて、地震の震源地が自分が立っている足元であることを知りました。それからの状況は、TVや新聞報道でみなさん周知の通りです。

この大きな自然災害とその後続いた豪雪からの復興活動では、全国各地からの暖かい支援をいただき「共存共栄」の想いを実感しました。

待ちに待った沖縄旅行

スマイル 山川正彦

(中部支部)

スマイルが開所した平成八年十月以来、僕たちは沖縄旅行を目標に毎月給料の中から積み立て貯金をしてきました。そして、お母さんたちも一緒に僕たちが連れていってあげたいと思っていました。



比嘉節子名誉会長の自宅訪問。
節子さん流の生ゴミ処理の手ほどきを受けました。

昨年十月、ようやく各自二人分の旅費が貯まったので二十日から二泊三日の日程で、総勢十

四人で沖縄旅行に出発しました。飛行機に初めて乗った一昭君とイネちゃん、ドキドキ緊張していました。

沖縄に着いたら沖縄支部事務局の天がさんが出迎えてくださいました。比嘉教授のお宅へ行き、比嘉節子さんに会いました。前から沖縄に遊びに行くと約束をしていたので、お会い出



大学生になった気分。
琉球大学構内で比嘉教授直々にEM活用事例の説明を受ける。

けました。にするお話を、EMの授業を受け

僕は大学生になったような気がして、とても嬉しかったです。夜は、節子さん、天がさんと一緒に沖縄料理を食べて、僕はビールも頂きました。楽しくて美味しかったです。そして、夜遅くまで母と手をつないで国際通りを歩きました。次の日は、大きな水族館を見て、首里城を見学しました。ひめゆりの塔へ行き、無事三日間の沖縄旅行をたんのうしました。

全国にEMボカシネットワークの仲間がいるので、次は何処かでボカシの仲間に会えるか楽しみです。今度も、すっかりお金を貯めて、母の分も僕が出して旅行に行き母の喜ぶ顔が見たいです。

四月六日に、スマイルは新しい建物に引っ越しをして来ました。皆さん是非見に来てくださいます。これから、利用してください。ボカシをつくりたいと思います。



「EM生活」

園芸用品シリーズ 園芸ボックスについて



(株)高儀 第三事業部
営業開発部部长 磯田雅也

「EM生活」の商品シリーズは、生ごみリサイクル用品として、環境・健康・安全をテーマに、社としての新しい分野へのチャレンジでした。

今回の園芸ボックス(45L)を開発するきっかけは、生ごみ処理容器内で発酵を終えたEM生ゴミ発酵肥料を、土に還す場所がなく困っている方が大勢いると知ったことです。

生ゴミ処理容器(マジックボックス「8」)と同様に、製造過程でプラスチック資材にEM-Xセラミックパウダーを混入し、発酵がスムーズに進むよう改良しました。

この園芸ボックスの発酵促進力を

活かして、EMボカシ作りにご利用いただいている施設・作業所がある聞き、商品の機能性を評価されたものと喜んでいきます。今後も、皆様に喜んでいただけるよう努力してまいります。

園芸ボックスでEMボカシ作り

利点と注意点

長野支部 諏訪明子

長野支部では、7施設・作業所が園芸ボックスを利用してEMボカシを作っています。

重ね置きができることで保管場所をとらず、省スペース。また重ねることでフタがしっかりと押さえられるので熟成に必要な高い密閉状態が保てます。1箱に米ぬか15kg以上が入ります。仕上がりもこれまでにない良い状態になっていると感じています。

失敗しないための注意点

① EMボカシを詰め込む際、盛り上がるほどに詰めず、縁から1cm程度の隙間をつくと良い。
(一度に多く入れるとフタが盛り上がり空気が入り易い)



② 容器を密封するため、パッキンとして箱より大きめ(45cm×50cm以上)の発泡エチレンシート(※)を用いる。空気を通すような新聞紙等を用いると、青カビや黒カビが生えて失敗する事があります。

※割れ物の梱包や、押入れの中敷などに使われるクッションシートでホームセンターなどで購入できます。

③ フタの止め具がゆるくなっている時は、しっかりと閉まるよう工夫すること。



■EM配合ボックスの発酵促進作用の確認試験■

(経過報告1)

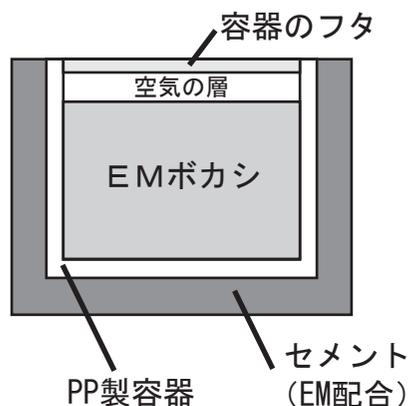
【目的】

EMおよび、EMセラミックス等が配合された樹脂ケースでEMボカシを作る際の効果（発酵が促進＝pH低下が早くなると想定）を、定量的に評価すること。

【実験方法】

- ①THEボカシNo. 23号記載のレシピ（モミガラなし、EM-Xセラミックス入り）で、EMボカシ（I型）を調合。
 - ②PP製の樹脂ケース（容量2L）の周囲にEM配合のセメントでコーティングした容器（下図参照）に、①のEMボカシ材料を詰め込む。
 - ③蓋で密閉して直射日光の当たらない部屋で保管。
 - ④発酵臭等で発酵が確認できた時点で、ボカシをサンプリングしてpHを測定。
- ※今回の仕込み日は3/14で、pH測定日は5/10、発酵期間は53日間

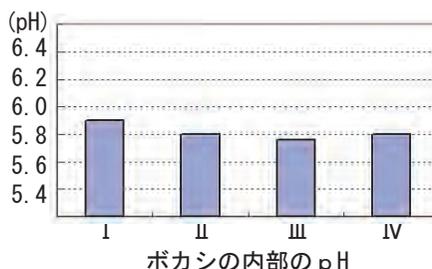
＜セメントのバリエーション＞



I 無処理区	セメントと水のみ
II EMセラ10%	セメントに対し重量比10%のEMセラミックスパウダー配合
III EMセラ50%	セメントに対し重量比50%のEMセラミックスパウダー配合
IV EM1練り	セメントとEM1のみで、水は使わない

【実験結果】

空気に触れているボカシの表面と、ボカシ内部中央の2箇所のpHを測定



各pHデータは、3回の測定値の平均

【結果解釈と今後の進め方】

表面の比較では、EMセラミックス量が多いほど「低pHとなる＝乳酸菌主体の発酵が進む」傾向が得られた。EMの容器で熟成させることで、発酵が難しいボカシの表面の発酵が促進する結果になった。またEM1で練ったケースがもっともpHが低くなった。ボカシ内部のpHについては、本実験においては明確な差は見られなかった。

今回仕込み時のpHが未測定だったこと、途中の経過がないことや、もみがらなしで実験を行ったことから、今後、信頼性を確保するためにも再試験をおこなう予定。

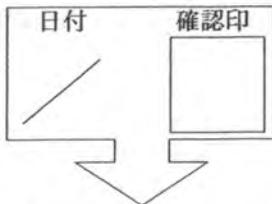
EM生活園芸ボックス45L 購入申込書

お申込記入欄	お申込日 平成 年 月 日		担当者名	
	支部名 支部		施設名	
	TEL — —		FAX — —	
	お届け先 〒			
	商品コード	商品名 EM生活園芸ボックス 45L	注文数 (1箱8個入) 箱	
	税抜き @1,000	税・送料込み 入数 @1,050 × 8個	箱数 × <input type="text"/> 箱	お支払い合計金額 = ¥
	使用用途		通信欄	
振込先 北越銀行 一ノ木戸支店 普通246892 (株)高儀 第三事業部				

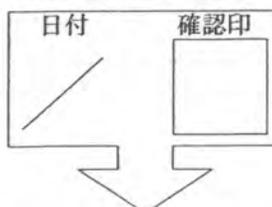
- 条件 ①支払： 銀行振込でお願い致します
 ②振込手数料： 購入申込者のご負担でお願い致します
 ③納期： ご入金確認後、4日以内（土・日を除く）

お申込はFAXでお願い致します

① 支部 _____ 施設 _____



② EMボカシネットワーク本部事務局



〒107-0052
 東京都港区赤坂3-16-11東海赤坂ビル4F
 EM研究機構 東京事務所
 FAX. 03-5570-7052 TEL. 03-5570-5262

③ 高儀 東京営業所 _____

※コピーしてご利用ください

【生ゴミ処理用EMボカシ（I型）の作り方】 THEボカシ23号改訂版

材料 (注)

 10kg
新鮮なものが好ましい

あれば
 0.5kg
米ぬかの5%程度

 100g
米ぬかの1%程度（重量）

  共に50ml
水に対して1~3%（高い程失敗しにくくなります）

 2.5L
できれば汲み置き水が良い

① EMの混合液を作る

50mlの糖蜜をお湯で溶いたもの  50mlのEM1

お湯で溶かした糖蜜を水に加えてトータルで2.5Lになるようにして、最後にEMを入れる。



※ポイント

この混合液を3日前に、密閉容器等で仕込んでおくと、EMが活性化し、さらに発酵がスムーズになります。

これは通常の「EM活性液」ではありません。あくまでもEMと糖蜜を混合し、途中でまで発酵が進んだものを指します。



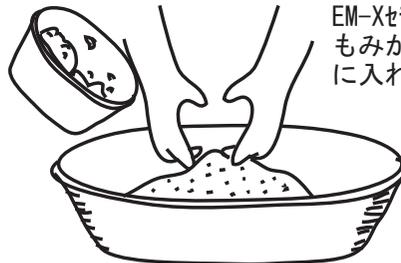
② 希釈液とモミガラを混ぜる



希釈液をモミガラに十分含ませる。希釈液は全部使い切らず、④の水分調整のために少し残しておく。

※米ぬかだけの場合は、直接じょうろ等で希釈液をかける。

③ 米ぬかにもみがらを混ぜる



EM-Xセラミックスパウダーと、②のもみがらを米ぬかのタライに入れ、よく混ぜる。

※種ボカシ（既に良く発酵したEMボカシ）を5%程度加えると、更に発酵がすすむ。

④ 水分量の確認

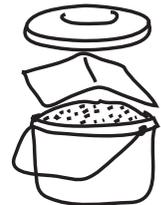


ギュッと握って団子になる程度。水分が少ない場合は残しておいた希釈液を加える。

⑤ 密閉容器に仕込む



空気を抜きながら、密閉容器に満杯になるように押し込む。



フタをするときに新聞紙で表面を覆う。

⑥ 発酵させる



直射日光の当たらない暖かい場所で発酵させる（夏場2ヶ月、冬場3ヶ月以上）。少し色が濃くなり、香ばしい強い香りになったら完成。

※発酵適温：15~40℃

⑦ 完成



さらさらになるまで乾燥させ、袋に詰める。

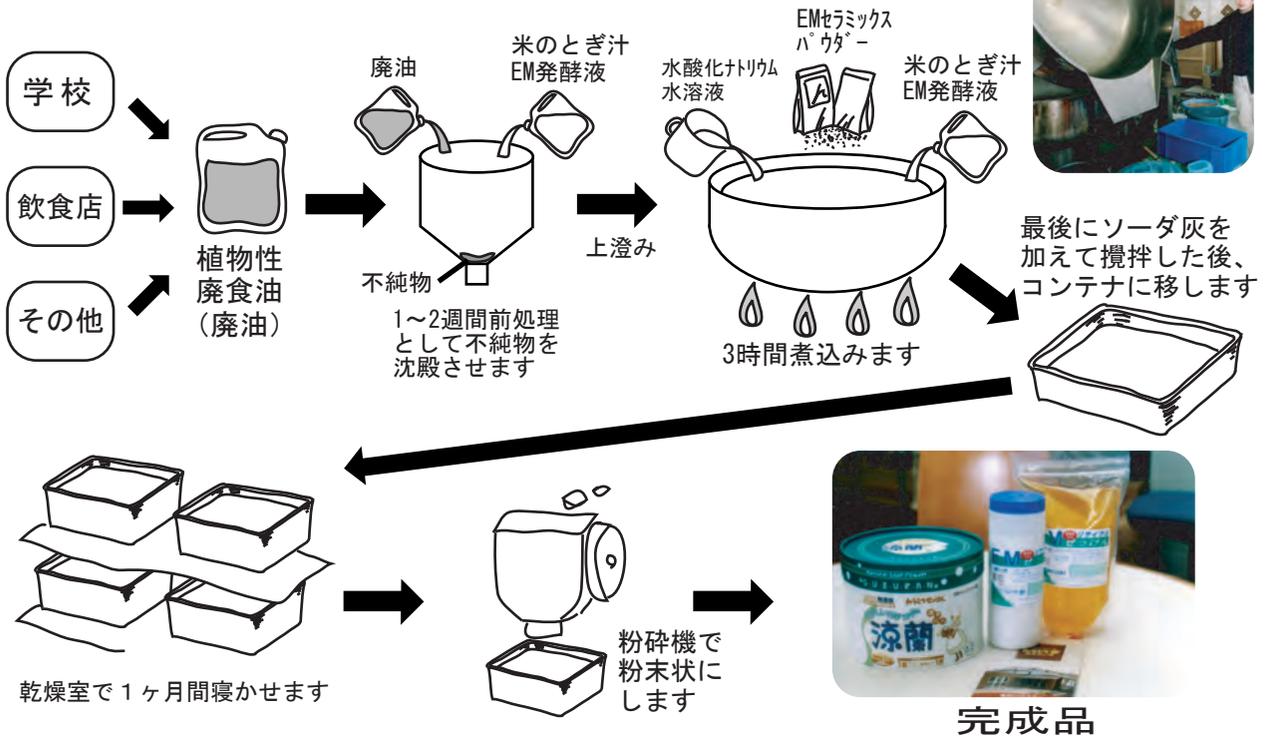


(注) 地域や、手に入る資材によって、分量に多少の差があります。

【環境にやさしいせっけんづくり】

宮城県 仙台市 社会福祉法人わらしべ舎

■わらしべ舎 西多賀工房■



わらしべ舎は15年前から石けんづくりに取り組んでいますが、EM活用を始めたのは平成16年6月からです。集めた植物性の廃油に米のとぎ汁EM発酵液を加えて不純物を沈殿させ、けん化させる時にも、米のとぎ汁EM発酵液とEMセラミックスパウダーを添加するなど随所にEMを活用しています。

EMを使い始めてから以下のような効果が出ています。

- ・乾燥室の刺激臭（酸化臭、脂肪酸臭、石けんカス臭）が柔らかくなった。
- ・釜の中で攪拌する際、サラサラ感がある。
- ・釜の掃除が楽になった。
- ・セラミックスパウダーを使用してから釜炊きの温度が早く上がり、下がりづらくなった。
- ・石けんの質が良くなったとお客さんの声があった。
- ・道具が錆びなくなった

こうしてできたEMリサイクル無添加石けんは、生協などでも好評です。現在は月産500kgですが将来的には倍の1tまで増産予定です。

十人の仲間たちと石けんづくりを担当する鈴木暁さんは「施設が作ったものだから品質が悪いと言われたくない。廃油石けんの限界まで技術や製造を研究していきたい」と熱く語っています。

仲間たちの声

●EMボカシ団子学習会に参加して●

私たちは、EMたんこを
作ります。
それで川がきれいになって
ほしいと思っております。
1日も早くきれいに
なつてほしいです
みんなさんもたのびて
ごみを拾ってほしい
ください
住えエエ作業所
古川こがえ

大阪支部では大阪市漁協が推進する道頓堀川浄化活動に、EMボカシ団子づくりなどで積極的に参加しています。

2月7日には、EMボカシ団子交流会を堺市にあるつつじ作業所で開催し、EMボカシ団子の品質向上を図りました。



本部事務局便り

本部事務局担当を終えて

永田 麻知子

平成十七年三月をもちまして、本部事務局担当を交代することになりました。二年間という期間でしたが、素晴らしいネットワーク活動に参加でき、嬉しく思います。

十周年を迎えた昨年は、皆さんの積極的な環境浄化活動が成果を上げていくことを実感し、EMボカシや、その他EMを活用した多様な製品の品質の高さに感銘を受けました。その貴重な技術情報を、多くの人に活用して頂ければという想いのもと「T H Eボカシ十周年記念号」を発行いたしました。今後も、福祉施設

が環境浄化活動の情報発信基地となり、本部事務局がそれをサポートする関係が続けて行くことを願っております。

本部事務局担当を

引き継ぐにあたって

本部事務局 笹原咲子

四月より本部事務局を担当することになりました。十年の歴史あるEMボカシネットワーク本部業務という大役に期待と不安でいっぱいです。

初めてのことばかりで、何かとご迷惑をかけることもあるかと思いますが、一人でも多くの関係者の方から、お話を伺いたいと思っております。

ご指導ご鞭撻を頂けますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

全国EMボカシネットワーク支部一覧表

各支部の情報は本部事務局までご連絡を！！

本部事務局 東京都港区 TEL : 03-5570-5262 FAX : 03-5570-7052

(★印は、広域支部を表しています)

平成17年7月現在29支部

★北海道支部	河西郡	TEL 0155-62-5449	FAX 0155-62-5449
青森支部	南津軽郡	TEL 0172-57-2193	FAX 0172-57-5145
岩手支部	盛岡市	TEL 019-604-9555	FAX 019-604-9550
三陸支部	宮城県気仙沼市	TEL 0226-24-2147	FAX 0226-24-2142
★関東支部	千葉県我孫子市	TEL 04-7184-2789	FAX 04-7184-4973
山梨支部	東八代郡	TEL 0553-47-1008	FAX 0553-47-1008
静岡支部	富士宮市	TEL 0544-26-3262	FAX 0544-26-0522
★北陸支部	福井県福井市	TEL 0776-27-6955	FAX 0776-27-3658
新潟支部	十日町市	TEL 0257-57-9749	FAX 0257-52-4130
★中部支部	岐阜県可児市	TEL 0574-65-6436	FAX 0574-65-6436
長野支部	駒ヶ根市	TEL 0265-83-3414	FAX 0265-83-3414
★関西支部	大阪府大阪市	TEL 06-6222-3903	FAX 06-6205-3903
大阪支部	東大阪市	TEL 06-6782-6518	FAX 06-6788-0486
滋賀支部	長浜市	TEL 0749-63-0180	FAX 0749-63-0195
京都支部	京都市北区	TEL 075-492-3427	FAX 075-492-3427
奈良支部	生駒郡	TEL 0743-57-3133	FAX 0743-57-3133
和歌山支部	和歌山市	TEL 0734-23-5333	FAX 0734-23-5334
兵庫支部	神戸市	TEL 0782-22-2286	FAX 0782-22-2103
★中国支部	広島県深安郡	TEL 0849-63-4510	FAX 0849-63-4953
島根支部	松江市	TEL 0852-27-5517	FAX 0852-27-5517
徳島支部	徳島市	TEL 088-622-8666	FAX 088-623-4304
香川支部	高松市	TEL 087-843-3689	FAX 0878-70-0235
高知支部	土佐郡	TEL 0887-82-0128	FAX 0887-82-2610
愛媛支部	松山市	TEL 089-932-7100	FAX 089-932-7117
★福岡支部	福岡市	TEL 092-852-8511	FAX 092-852-8512
佐賀支部	福岡県八女郡	TEL 0943-32-0469	FAX 0943-32-2425
長崎支部	諫早市	TEL 0957-24-5500	FAX 0957-24-5511
熊本支部	熊本市	TEL 096-329-1777	FAX 096-329-1784
★沖縄支部	うるま市	TEL 098-972-6060	FAX 098-972-6068